

2022年11月30日
株式会社三菱UFJ銀行

AEON Credit Service (Asia) Company Limited
で「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一（以下、当行））は、AEON Credit Service (Asia) Company Limited（Stock Code: 00900、香港、Managing Director 深山 友晴（以下、当社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション^[1]（以下、LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン（以下、SLL）」によるローン契約（以下、本契約）を、本日締結いたしました。

SLL 原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

当社はイオンフィナンシャルサービス株式会社（TSE: 8570、代表取締役社長 藤田 健二）の子会社で、1987年に設立され、香港証券取引所のメインボードに上場しています。香港におけるクレジットカードの発行と個人ローン融資の提供、カード決済処理サービス、保険代理店と仲介事業および中国本土でのマイクロファイナンス事業等を中心とした消費者金融事業に従事しています。

イオンフィナンシャルサービスグループでは長期的に持続可能な社会の実現に貢献するべく、サステナビリティ基本方針を定めており、香港における上場企業である当社においてもサステナビリティ・コミッティを独自に設置し、サステナビリティ基本方針を設定しています。今回、その中から電力量やコピー用紙の使用量の削減、学生への奨学金支給等の SPT を設定し、本契約を通じてその実行に対するコミットメントを強化します。

SPT を当社の事業および財務実績の評価に統合することで、サステナビリティのプラクティスを当社の事業に組み込み、強化し、より環境に優しくサステナビリティな資本市場への変革にプラスの影響を与え、貢献することを目指します。また今後も、サステナビリティに関連した資金調達のパートフォリオを拡大する機会を積極的に模索し続ける方針です。

なお、本契約は当社における初めての SLL の導入となります。

(本契約の概要)

借入人	AEON Credit Service (Asia) Company Limited
資金使途	長期運転資金
実行日	2022年11月30日
実行期間	3年
貸付人	株式会社三菱UFJ銀行 香港法人営業部

本契約では、Hong Kong Quality Assurance Agency より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFJ Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。

以 上